

〔実践事例2〕

単元名	カメレオンはだれだ？－人物像に着目して読もう－
-----	-------------------------

■ 身に付けさせたい力（指導事項）

文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。

（読むこと ウ）

■ 教材

「カメレオン」 チューホフ （東京書籍2年）

■ 言語活動について

本単元では『中学校学習指導要領解説国語編』第2学年「C読むこと」の言語活動例の「ア詩歌や物語などを読み、内容や表現の仕方について感想を交流すること」を参考にして、人物像に着目して小説を読み、読み取ったことを根拠に自分の考えをまとめて交流をするという言語活動を位置付けました。この言語活動を通して、人物像を捉えるための視点を基に、分析的に作品を読むことで内容の理解を深めたり、自分の考えをまとめたりすることを指導します。

授業改善策の提案

授業改善の柱1

単元を通して生徒が自律的に学習を進めることができる学習課題の設定

■単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導

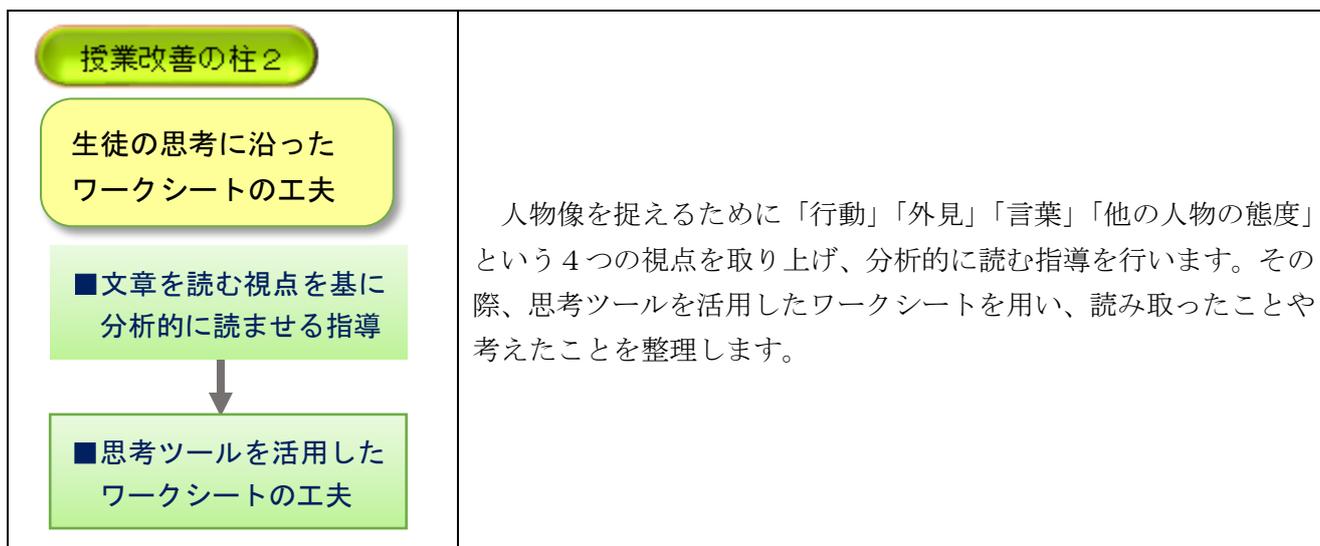
題名がなぜ「カメレオン」なのかという点から、文章の中の「カメレオン」を見付けさせるために人物像に着目して読む学習課題を設定します。

《単元の学習課題》

「カメレオンはだれだ？－人物像に着目して読もう－」

単元構想具体化のポイント

- ・「学習用語」を生かした指導…「人物像」
人物像の意味や人物像に着目した読み方について、共通理解を図ります。
- ・条件設定を明確にした指導
自分の考えをまとめる際に、条件を設定して考えを書かせます。前提となる場面設定や視点を捉え、条件に沿って書かせます。条件とは、「時数制限」「文体や文の形式の設定」「自分の立場や根拠を明らかにする」などを指します。



単元の目標

- (1) 表現（言動・様子）を根拠に、人物像を捉えることができる。
- (2) 読み取った人物像について、自分の考えをもつことができる。

単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
① 文章を読んで登場人物について考え、交流して考えを深めようとしている。	① 人物像に着目して文章を読み、根拠となる表現を挙げて自分の考えをまとめている。 (ウ)	① 語句の意味を国語辞典で調べ内容の理解に役立てている。(イ(イ))

単元の授業過程（全3時間）

WS…ワークシート

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法	単元のねらいと 本時の関わり
第一次(導入)	1	1 既習教材「大造じいさんとがん」を使い、人物像を捉える練習をする。	・人物像に着目して文章を読み、内容を理解していくことを確認する。 授業改善の柱1	〔言〕 語句の意味を調べ、内容の理解に役立っている。 【ノート】	人物像を捉えるために、「外見」「言葉」「行動」「他の人の態度」の4つの視点に着目して文章を読ませます。人物像を捉える手掛かりとなる表現を、思考ツールを活用したワークシートに記入させ、人物像について自分の考えをもたせるための手立てとしています。 授業改善の柱2
		2 学習課題を設定し、学習計画を確認する。 学習課題 カメレオンはだれだ？ー人物像に着目して読もうー		〔読〕 人物の言動、様子に着目し、特徴的な表現を抜き出している。 【WS①：Xチャート】	
		本時の目標：登場人物の言動、様子に着目して文章を読み、人物像を捉えよう。			
		3 題名について考える。	・「カメレオン」という題名がなぜ付けられているのかを考えさせる。	〔読〕 本文から抜き出した登場人物の言動や様子を根拠に人物像について自分の考えを書いている。 【WS①：Xチャート】	
		4 本文を通読する。	・登場人物にマーキングしながら読ませる。 ・語句の意味を確認する。		
		5 人物像を捉えるために人物の言動、様子を本文から抜き出す。	・「外見」「言葉」「行動」「他の人の態度」の4つの視点に着目し、ワークシートに整理させる。 授業改善の柱2		
		6 4つの視点を基にして抜き出した表現を根拠に、人物像について自分の考えを書く。	・ワークシートに整理した言動、様子に着目して人物像を捉えさせる。		

第二次（展開）	2	<p>本時の目標：「外見」「言葉」「行動」「他の人の態度」の4つの視点から捉えた人物像について自分の考えをグループで交流し、考えを広げよう。</p>	<p>〔関・意・態〕 人物像とその根拠となる表現について、グループで交流をして考えを深めようとしている。 【WS②：考えを広げる】</p> <p>〔読〕 人物像を捉えるために着目した表現から根拠を挙げて自分の考えを書いている。 【WS②：自分の考えをもつ】</p>	<p>「外見」「言葉」「行動」「他の人の態度」の4つの視点から捉えた人物像とその根拠をグループで交流することで、登場人物の人物像に迫ります。また、読み取ったことを基に、カメレオンのような人物について自分はどのように考えるのか、体験と結び付けて考えをまとめます。</p>
		<p>7 4つの視点から捉えた人物像についてグループで交流する。</p> <p>8 作品に描かれた人物に対する自分の考えをまとめる。</p>		

第3次(終末)	3	<p>本時の目標：言動や様子から捉えた人物像を基に、自分が注目した登場人物になりきって人物の言動や様子がどのような意味をもっているかを説明しよう。</p>	<p>〔読〕 4つの視点で読み取った人物の言動や様子について、その人物になりきって行動、言葉、外見の意味を説明している。 【WS③:自分の考えをもつ】</p>	<p>本単元で学んだことを再構築し、課題を変えて自分の考えを書く活動を位置付けました。読み取ったことを基に、視点を変えて自分の考えを記述させ、人物像に迫ることをねらいとしています。</p>
		<p>9 登場人物になりきって、言動や様子の意味を説明する。</p> <p>10 登場人物の人物像について、自分の考えを書く。</p> <p>11 考えを学級全体で共有する。</p> <p>12 単元の学習の振り返りをノートに記述する。</p>		

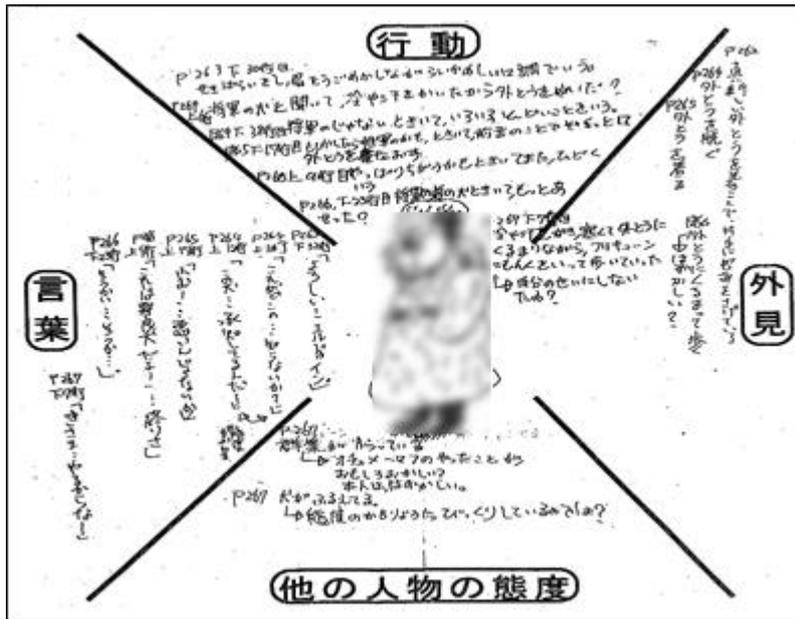
授業の実際

ワークシートから見る本単元の展開

【ワークシート①：Xチャート】 1時目の生徒の記述

◎「行動」「外見」「言葉」「他の人物の態度」の4つの視点に着目して、登場人物の言動、様子を抜き出そう。

(生徒のワークシートの記入例)



【ワークシート②：考えを広げる】 2時目の生徒の記述

◎作品に描かれている人物についてあなたの考えを書こう。

【条件】①文章中の言葉より、根拠を明確にして自分の考えを書く。

②自分の体験と結び付けて書く。

〔評価規準〕 A・・・①②ともに満たしている

B・・・①のみ満たしている

C・・・②のみ満たしている



《評価規準Aの生徒の記述》

・②僕は、友達と先生に対する態度に違いがあります。みんなカメレオンのような一面をもっていると思います。社会はそんなにあまくないので、そのようにならないと生きていけないと思いました。しかし、人によっては変化が激しい人もいます。①オチュメーロフのように、自分より位などが下の人には厳しくしたり、上の人には顔色をうかがったりするのはよくないと思いました。自分より上の人にきちんとするのは良いと思うけれど、皆平等に接するべきだと思います。

- ・②僕は仲のいい人とそうではない人によってしゃべる態度が少し違います。①オチュメーロフは位によって態度が変わるけれど、僕は、仲がいいか、そうではないかで決まります。だから、僕はカメレオンなのかもしれません。それから、態度の変わり方が激しいので、そこを直したいと思います。そして、オチュメーロフみたいには絶対なりたくないです。

《評価規準Bの生徒の記述》

- ・カメレオンのような人物はいると思うし、自分の近くにもいるかもしれない。カメレオンのような人物は、自分の身を守るためにやっていると思った。①オチュメーロフは人によって態度をころころ変えて、本当のカメレオンのように見えた。自分の周りにはカメレオンのような人はいないから、もしいたら探してみたい。

- ・①オチュメーロフは、場やその場の雰囲気で見え方を人物でした。そういう人にはなりたくないと思っても、やっぱり無意識に態度が変わっているような気がします。私もカメレオンなのかもしれません。しかし、カメレオンのままではいけません。しっかりと自分の意見をもつことは容易ではないけれど、オチュメーロフみたいな人にならないように、しっかり意見を持ちたいと思います。

【ワークシート③：自分の考えをもつ】3時目の生徒の記述

※【ワークシート①】で捉えた人物の言動・様子の意味を考えます。

- 1 あなたが、（ ）になったつもりで自分の言動や様子について説明しよう。

【条件】

- (1) ワークシート①に抜き出した「行動」「外見」「言葉」「他の人物の態度」の意味を、その人物になりきって説明する。
- (2) 取り上げた人物が、実際に話すように書く。

(生徒の記述)

(オチュメーロフ)

わしは権力があって偉い人間だ。この街はわしのおかげで事件が解決しているようなものだ。住人でわしに逆らうやつはいないし、わしは尊敬されている。この街に欠かせない存在だ。住人には敬われ、将軍のことを敬っている。ばかな住人どもとは違うんだ。将軍には自分がよい人間だと思ってもらうのは当たり前だ。なぜなら、わしは住人を従える善人だからだ。わしの気に入らないことをして、プライドを傷つけるやつが嫌いだ。わしは自分のやり方が正しいと思っている。

② 自分自身に戻り、登場人物についてあなたの考えを書こう。（視点を変える前と後を比べよう）

（生徒の記述）

オチュメーロフは、もっと自分の考えをもって行動すべきだと思う。そして、人には平等に接するべきだと思う。大切なのは権力などではなく、だれにでも優しくすることだと思う。

検証授業を振り返って

授業改善の柱1

■単元を通して課題解決をめざす言語活動を設定し、目的や意図に応じて文章を読ませる指導

人物像に着目して文章を読むために、題名がなぜ「カメレオン」なのかという課題を解決する単元を設定しました。単元を通して人物像に着目した読み方や、読み取ったことが生かされるように単元の指導計画を工夫しています。その際、人物像という用語の定義付けを行い、生徒が用語の意味を共通理解し、文章を読む目的を明確にすることにもつながりました。

第2時で自分の考えをまとめる際には、「自分の体験を結び付けて書く」「根拠を明らかにして書く」という条件を示しました。生徒は条件を基に考えをまとめ、自分の考えを書くことができました。また、根拠を基に自分の考えをもつ学習活動を繰り返すことで、書かれていることを根拠にして自分の考えをまとめることができるようになってきました。

授業改善の柱2

■文章を読む視点を基に分析的に読ませる指導

■思考ツールを活用したワークシートの工夫

人物像を捉えるために、「行動」「外見」「言葉」「他の人物の態度」の4つの視点で文章を読んでいきました。その際に思考ツール（Xチャート）を活用したワークシートを用いて、人物像を捉えさせました。思考ツールに整理した内容が人物像を捉える根拠になり、生徒が自分の考えをもつことにつながりました。また、ワークシートは学習の履歴として、前時の学習を振り返ったり、次時の学習に生かしたりすることができました。

自分の考えを書かせる際には、身に付けさせたい力は何であるのか、それに沿ったワークシートであるのか、提示する条件は妥当であるかなど、十分吟味することが必要であると授業実践を通して感じました。

